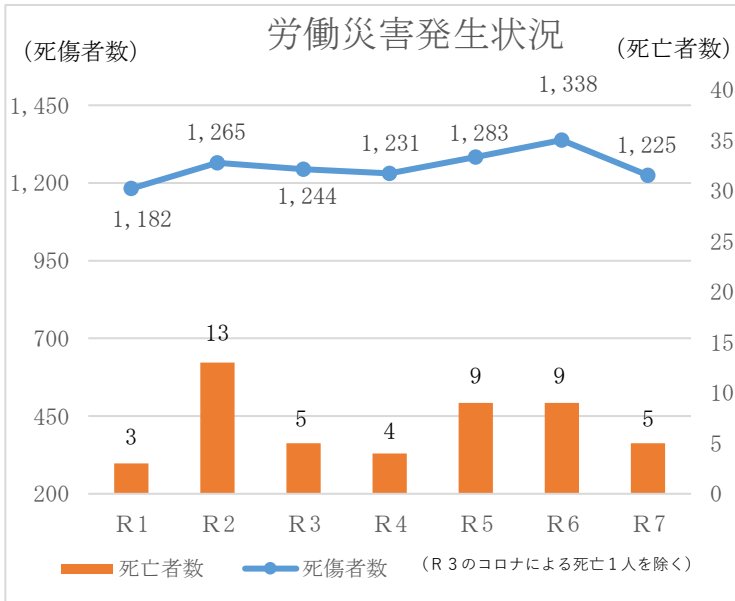


佐賀県内の労働災害発生状況 令和7年（令和8年4月集計 確定版）



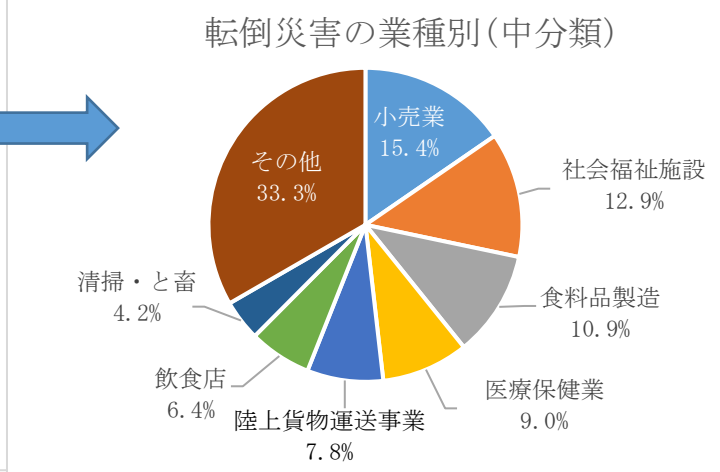
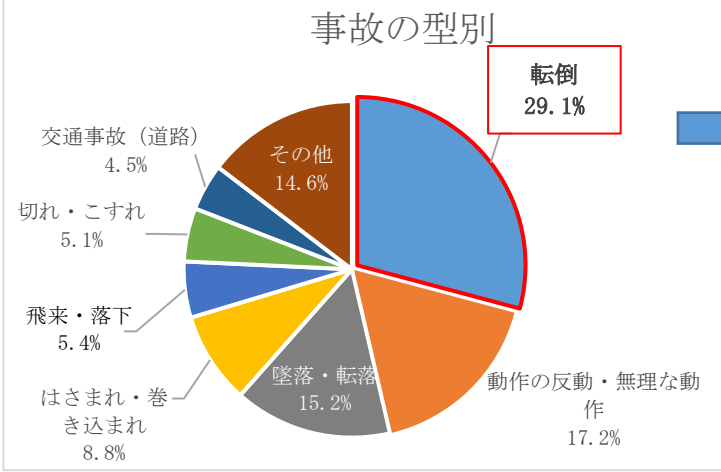
労働災害の12月末の発生状況は、休業4日以上死傷災害が1,225人（コロナを除く件数）、死亡災害は5人（前年は9人）となっています。

【死亡災害事例】

- 2月 運輸交通業 トラッククレーンに積載したコンテナを卸す作業中、玉掛用ワイヤーロープが切断し、下敷きになった
- 4月 警備業 ドラッグショベルのバケット内側に乗り、立木の伐採中に転落した
- 5月 社福施設 来訪者の対応中、突然刃物で襲われた
- 8月 建設業 道路の除草作業中、倒れている被災者を発見した（災害発生地直近の観測所における気温：33.8度）
- 12月 小売業 車で帰社途中、故障のため停車していたトラックにぶつかった。

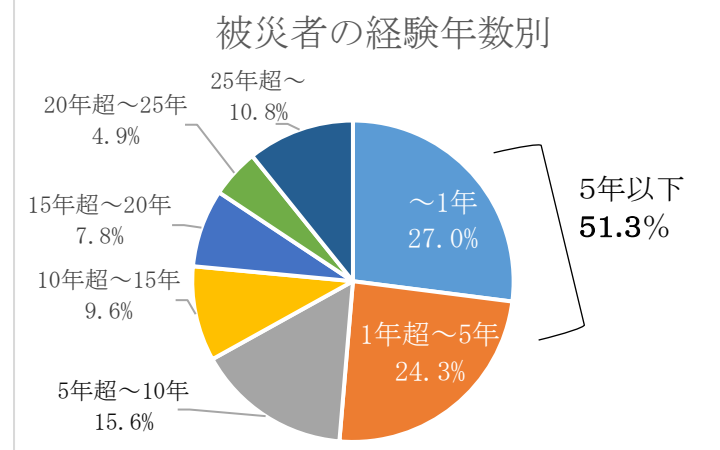
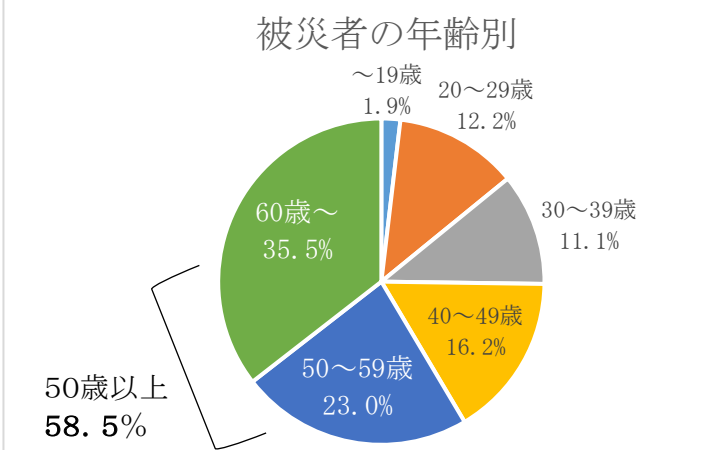
事故の型別でみると転倒災害が**357人**で最も多く、次いで動作の反動・無理な動作(腰痛等)が**211人**、墜落・転落災害が**186人**、の順となっている。（コロナを除く。以

転倒災害を業種(中分類)でみると、小売業が**55人**と最も多く、次いで社会福祉施設が**46人**、食料品製造が**39人**の順となっている。



年齢別では、60歳～が**435人**と最も多く、次いで50歳代が**282人**であり、50歳以上が**58.5%**を占めている。

経験年数別では、～1年が**331人**と最も多く、次いで1年超～5年以下が**298人**となっており、5年以下が**51.3%**を占めている。



※死傷病報告書（R8. 4. 7 確定値）より（コロナウイルス感染症によるものを除く）

